

地域への恩返し の気持ち語る

災害公営「十日町住宅」建設 早坂社長が紙面に

大崎市古川の不動

産・建設業、古川土地

の早坂竜太社長が、P

HP研究所発行の月刊

誌「PHP」12月号(第

811号)で、市の災

害公営住宅「古川十日

町住宅」建設を実現さ

せた立役者として紹介

された。税込み205

円。県北部の書店やコ

ンビニエンスストアな

どで販売中。

「東北レポート・復

興への道をひろく」の

コーナーで取り上げら

れた早坂社長は、廃虚

と化していた十日町の

ホテルを取得し、企業

グループ代表として解

体、鉄骨造り7階建て

の災害公営住宅建設を

行ったことも紹介。地

元出身者として、地域

へ恩返しする気持ちを

熱く語っている。

また、東日本大震災

で大崎市が内陸部最大

の被災地であることを

説明。被災者救済のた

め、入居可能な物件を

確保して仲介手数料を

無料化し、各物件オー

ナーにも敷金・礼金の

無料化交渉をしたこと

も述べている。

12月号は早坂社長の

記事のほか、将棋棋士

の羽生善治名人のイン

タビュー、世界ボクシ

ング機構(WBO)女

子世界バンナム級王

者・藤岡奈穂子選手(古

川出身)所属ジム会長

のタレント竹原慎二

さん、元世界ボクシン

グ協会(WBA)ミッド

ル級王者らのエッセ

ーなどが収録されてい

る。

問い合わせは同研究

所東京本部へ電話03

(3520)9611

へ、または京都本部へ

同075(681)4

4311へ。



早坂社長が取り上げられた「PHP」12月号

月刊誌「PHP」12月号に掲載

古川東RC

「意義ある業績賞」受賞

キャリアセミナー高く評価

古川東ロータリークラブ(古川東RC)はこのほど、世界各地のロータリークラブでつくる連合組織、国際ロータリー(RI)から「意義ある業績賞」を贈られた。大崎中央高(佐々木哲校長)で毎年実施している「キャリアセミナー」が、地域ニーズに応じた優れた事業として高く評価された。

大崎中央高初の1、2年生合同開催

同セミナーは、生徒たちに高校生活の早い段階で進路選択を意識してもらおうと狙い。2009年度

から職業奉仕委員会が中心となり開催している。

会員や会員が経営する事業所の従業員、同RC傘下で青年層対象の古川東ロータリーアクトクラブ(古川東RA)C(会員が講師となり、現在の職業に就くまでの歩み、仕事の喜び、社会人として必要な知識やマナーなどを分か



「意義ある業績賞」と記念の置き時計

5月に開かれた第2520地区(宮城、岩

手)大会の席上、木村正輝2014〜15年度会長(現・直前会長)が、ゲイリーC・K・ホワン会長(当時、台湾RC)と山口淑子地区ガバナー(同、盛岡海ノ沢RC)連名の表彰状と、ガバナー特別賞として記念のクリスタル置き時計を代表して受け取った。

「意義ある業績賞」は、地域の重要な問題やニーズに取り組みRCの活動を表彰する制度。古川東RCは、「会員が身をもって奉仕する」「ロータリーのイメージ強化」「他RCも模倣可能」「単一RCで実施」といった受賞条件を全てクリアした。

同セミナーの開催後、同校卒業生の希望進路達成率は上昇し、最近3年間は進学、就職とも100%を達成

している。佐々木校長は「古川東ロータリークラブの協力のおかげ」と感謝していた。



自身の職業について説明する古川東RC会員

7回目となる本年度の同セミナーは20日に実施。昨年まで1年生だけだったが、前年度受講した現2年生から「別な講師の話も聞きたい」という声があり、初めて1、2年生合同で開催し、約130人が受講。佐々木優15、16年度会長ら10人が、2回ずつ講話した。このうち、仙北建設(古川)の高橋克幸代表取締役は、「一つのものを作り上げるため、多くをまとめるのが会社」「建設業は自分が手掛けた建物が残り、やりがいのある仕事」と説明。また、「社会人には嫌なことに耐えられる忍耐力と、人と上手にコミュニケーションを図る能力が必要」とも述べた。野球ができる大学への進学を考えている硬式野球部の大場圭太君(1年)は「幅広い話を聞くことができ、ためになった。目指す職業ははっきり決まっていないが、今回の話を将来を決めるのに生かしたい」と話していた。

3階級制覇おめでとう

藤岡奈穂子選手 30日古川で祝う会

女子プロボクシング

大崎市古川出身の女子プロボクシングで世界3階級制覇を成し遂げた藤岡奈穂子選手（竹原&畑山）の勝利を祝福する「おおさき宝大使『藤岡奈穂子』を祝う会」（藤岡奈穂子後援会主催、大崎市共催）は、30日午後6時から大崎市古川駅前大通の芙蓉閣で開催される。さらなる階級制覇へ向け地元の後援会や市民らが集まり激励する。後援会では幅広い参加を呼びかけている。

大勢の参加呼びかけ

10月19日、東京・後世界ボクシング機構楽園ホールで行われた（WBO）女子バンタム級1位、愈禮晶選手を圧倒し、3

△級王座決定戦で、藤岡選手は韓国の子東洋太平洋（OPBF）

0の判定で破った。藤岡選手（14勝6K01敗）は2011年5月、アナベル・オルテニス選手（メキシコ）に8回TKOで勝利し世界ボクシング評議会（WBC）女子ミニフライ級王座を獲得。13年11月には3階級上の世界ボクシング協



3階級を制覇し、会場からの声援に応える藤岡選手

退け、2階級制覇を成し遂げた。

藤岡選手は、東日本大震災では大崎市に寄付を行ったり、沿岸部で炊き出しを行うなど、被災地の支援活動に積極的に取り組んだ。大崎市の魅力を伝える市の「おおさき宝大使」も務めている。

参加申し込み、詳細は後援会事務局（作造ハンバーグのみせ 竹乃や）電話0229（22）136511か、大崎市秘書広報課（同23）502301へ。参加費は5000円。当日参加も可能。

古川北稲葉に新保育園

バオバブ保育園 来春開園目指し地鎮祭

社会福祉法人クレッシェンド(大崎市古川、田崎耕太郎理事長)は

来春4月、同市古川北稲葉に「バオバブ保育園」を開園させる。6

日、建設予定地で地鎮祭を行い、関係者約10

人が出席し工事の安全と早期完成を祈った。

同法人の保育園開設は、かえで保育園(同

市古川小稲葉町、2014年4月開園)に次

ぐ2園目。

あいさつで田崎理事長は、関係者に感謝の

意を表した後、「時代状況に対応しながら、

利用者求められる保

育園にしたい」と抱負。地鎮祭を主催した古川土地の早坂竜太社長

は「ただ建設するのではなく、若い世代が安心して子どもを生み育てられるまちづくり、地域の活性化を意識している。開園に向けて

しっかり施工したい」と語った。

中島喜伸園長によると、同保育園の特徴は「自然とふれあえる保育園」。遊び場に木を

植え、野草を敷きつめ、子どもたちが自然や昆虫と触れあえる園を目指すという。「子どもたち一人一人の力、感性を引き出し、自分たちで判断したり考えたりできるように、子どもの成長を促したい」と

話した。

バオバブ保育園は、準耐火建築物平屋で、広さ約550平方メートル。今月中旬に着工し、工期は来年2月末日。同年4月に開園する。定員は75人。

募集は他の市内認可保育園設と同じく11月から一斉に始まる。

問い合わせは市子育て支援課へ。電話0229(23)6045。

29(23)6045。



くわ入れを行う田崎理事長

古川土地JV 古川十日町住宅が完成

大崎市古川十日町地区に建設を進めていた買い取り型災害公営住宅が完成し28日に鍵引き渡し式が行われた。当日は、伊藤康志大崎市長や小野寺五典衆議院議員をはじめ入居者など約60



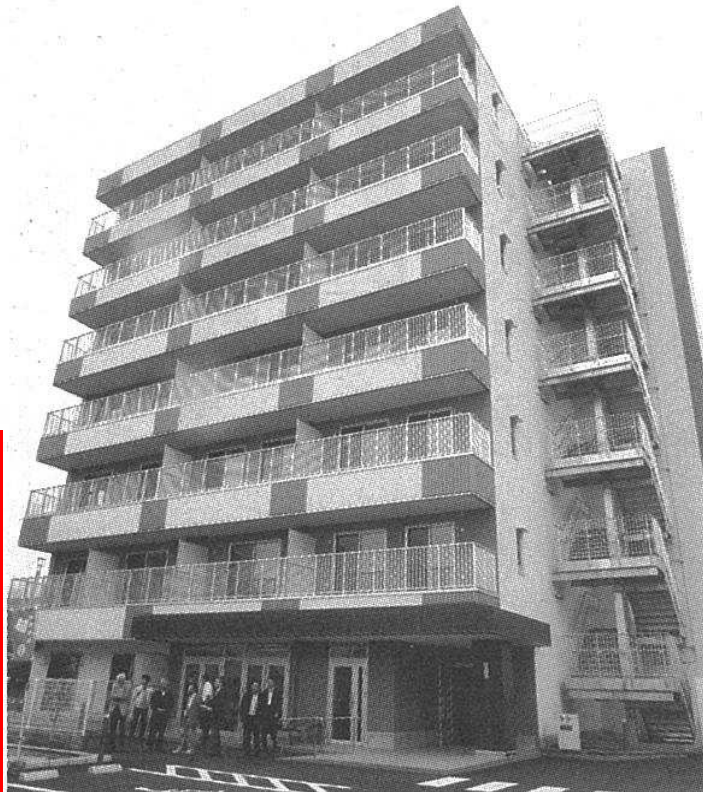
入居者に鍵を手渡す伊藤市長

大崎市で最後の宅 鍵引き渡し式を開催

人が参加し完成を祝った。事業者は古川土地・SUN総合・伸晃電設工業・北陵建設・大和ハウス工業JV(代表企業・古川土地)が担当。

古川十日町地区災害公営住宅は、廃業後10年以上未使用になっていた旧ホテル古川ゴールデンパレスの解体跡地である大崎市古川十日町33の1ほか地内の敷地1439・80平方メートルにS造7階建て、延べ1981・75平方メートルを建設。部屋のタイプは1DK3戸、2DK11戸、3DK3戸、3LDK3戸の計20戸で、駐輪場、集会スペースなどを設置した。

式典で伊藤市長は「大崎市では最後の災害公営住宅の鍵引き



完成した古川十日町地区災害公営住宅

渡し式を迎えることができた。建設に携わった事業者の方々には感謝している。十日町住宅は市役所や学校、幼稚園にも近く利便性に適した場所なので、ぜひともここで新しく生活再建していただきたい」と述べた。事業者である古川土地の早坂

竜太社長は「地域課題となっていたホテルを解体し、まちなみ再生に向けグループ企業と一帯となつて災害公営住宅の建設を進めることができた。今後も続けて中心市街地の再開発などにつなげていければと思う」と話した。



火災焼失の極楽寺再建へ

大崎市 古川中里 12月落慶に向け仏式地鎮祭

2013年10月の火災で焼失した大崎市古川中里の浄土宗本色山光明院極楽寺(川井達雄住職)が再建される……

仏式の地鎮祭に臨む極楽寺の檀信徒ら

2013年10月の火災で焼失した大崎市古川中里の浄土宗本色山光明院極楽寺(川井達雄住職)が再建される……

房器具の不始末等による失火ではなく、漏電の可能性が高いとみられている。

仏式の地鎮祭では、檀信徒らが工事中の安全を願って読経や焼香などを行った。終了後、川井住職、護寺会の都築健一会長、復興建設委員会の早坂竜太委員長(17日に護寺会副会長就任)、仙北建設の高橋代表取締役らがあいさつした。

「時間はかかったが、多くの方の協力で、再建できるまでこぎ着けることができただ。施工業者となった仙北建設は寺に近く、檀信徒も安心だと思おうと早坂委員長。「先祖を弔い、子々孫々まで愛される寺ができるのが楽しみ」と話していた。

仙北建設によると、上棟式は7月17日、落慶式は12月中旬の予定。

海外戦初勝利祝し懸垂幕

古川土地 3階級制覇へエール

古川土地(早坂竜太社長)は16日、大崎市ある同社ビルに、女子プロボクシング・藤岡奈穂子選手(竹原&畑



山)の海外戦初勝利を祝う懸垂幕を掲げた。藤岡選手は大崎市古川の出身で、世界ボクシング協会(WBA)女子スーパーフライ級王者。3月14日、メキシコで世界ボクシング評議会(WBC)女子スーパーフライ級イン

藤岡選手の海外戦初勝利を祝い掲げられた懸垂幕

ターナショナル王者、マリアナ・フアレス選手(メキシコ)と元WBC女子世界フライ級王者に挑戦、判定で破った。

藤岡選手は昨年11月、3階級制覇を目指しドイツでWBA女子世界フライ級王者に挑戦したが、判定でプロ初黒星。2度目の海外戦をメキシコで行い、

同国で絶対的な人気を誇るフアレス選手を破り、見事に再起を果たした。プロでの戦績は13勝(6KO)1敗。懸垂幕には「祝藤岡奈穂子選手 メキシコの英雄を撃破!!」と記

され、駅の利用者らの目を引いている。

早坂社長は「地元住民や多くの女性に勇気を与えた活躍をたくさんの人に知ってほしい」と設置した」といい、3月の勝利を弾みに「3階級制覇を成し遂げてほしい」とエールを送っている。

藤岡選手は19日午後6時半から、古川李俣

のインパルラ浦島で開かれる後援会(竹中修悦会長)主催の祝勝会に出席し、地元支援者に勝利を報告する。当日の参加も可能。会費は6000円。詳細は後援会事務局の「竹乃や」(大崎市古川福沼1丁目)へ、電話0229(22)1386

5。

北原工業団地(古川)造成へ

大崎市内 5カ所目 来年3月完成予定

大崎市土地開発公社(理事長・高橋英文副市長)が同市古川塚目字北原地内に整備する「北原工業団地」の造成工事安全祈願祭が16日、現地で行われた。市内5カ所目の工業団地で、敷地面積は防災調整池、緑地公園、排水路を含め5畝。来年3月末完成を目指す。

2、3社の進出見込む

同市の工業団地は、桜ノ目、沢田、石田(以上古川)、鶴田(松山)の4カ所あるが、いずれも企業が立地して空きがほとんどないことから、同公社が行政区域や市議を通じて工業団地造成の候補地を公

募。32地区から応募があったが、東北道古川インターチェンジに隣接し、近くに既存工場(宮城シマタヤ、アルプス電気北原工場)もある北原を選定。昨年12月から敷地内へ入るための仮設道路を整備し、本体工事着工前に安全祈願祭を開いた。防災調整池や緑地公園もある西工区は古川土地(古川)、早坂竜太社長、中央工区を三協建設(同、高嶋悦男社長)、東工区を藤山工務店(田尻、藤山修一社長)が施工する。2、3社程度の進出を見込んでおり、既に問

い合わせも入っているという。

祈願祭には関係者約30人が出席。高橋理事長、伊藤康志市長、北原造成工事安全協議会代表の早坂社長がくわ入れをし、来賓や他の



くわ入れをする伊藤市長

施工業者も玉串をささげ、工事中の安全を祈った。伊藤市長は「恵まれた立地条件なので、自信を持って売り出せる。市もアクセス道を整備して企業誘致に努め、震災からの内陸復興に役立つれば」と話していた。



同市の工業団地は、桜ノ目、沢田、石田(以上古川)、鶴田(松山)の4カ所あるが、いずれも企業が立地して空きがほとんどないことから、同公社が行政区域や市議を通じて工業団地造成の候補地を公募。32地区から応募があったが、東北道古川インターチェンジに隣接し、近くに既存工場(宮城シマタヤ、アルプス電気北原工場)もある北原を選定。昨年12月から敷地内へ入るための仮設道路を整備し、本体工事着工前に安全祈願祭を開いた。防災調整池や緑地公園もある西工区は古川土地(古川)、早坂竜太社長、中央工区を三協建設(同、高嶋悦男社長)、東工区を藤山工務店(田尻、藤山修一社長)が施工する。2、3社程度の進出を見込んでおり、既に問

大崎市土地開発公社 北原工業団地が本格着工

大崎市土地開発公社が新設する北原工業団地の造成工事が本格着工を迎え、16日に現地で安全祈願祭が行われた。

今回造成する北原工業団地の対象エリアは東北縦貫自動車道古川ICから南東500㍍に位置する古川塚目字北原ほか地内で、アルプス電気北原工場の南側隣接地約5㍍。全体を西工区1・51㍍、中央工区1・65㍍、東工区1・76㍍の3工区に分け



高橋理事長の鎌入れ

施工は古川土地、三協建設、藤山工務店

て整備し、分譲可能面積は調整池などを除いた約4㍍としている。施工は西工区が古川土地、中央工区が三協建設、東工区は藤山工務店がそれぞれ担当する。神事では、大崎市土地開発公社の高橋英文理事長が鎌(かま)入れ、伊藤康志大崎市長が鋤(くわ)入れ、古川土地の早坂竜太社長が鋤(すき)入れを行い、工事の安全を祈願した。神事後のあいさつで伊藤市長



伊藤市長の鋤入れ

は、「北原工業団地は古川ICからも近く交通アクセスに適した場所である。大崎市の地方創生のためにも、この工業団地は雇用促進と地元企業の誘致に向けた大きな事業の一つである。施工業者の方には工期内の完成へ無事故、無災害で安心・安全を徹底した工事を進めていただきたい」と期待を込めた。

造成は2016年3月末までを予定。本年度は造成と合わせて幅員9㍍間の道路拡幅工事も予定し、来年度には団地内を周回するための道路も整備する。



早坂社長の鋤入れ

大崎市

災害公営住宅整備進む

古川十日町、鹿島台も近く完成

東日本大震災で被災した人を対象とした大崎市の災害公営住宅は、6カ所のうち4カ所で入居が始まり、残り2カ所もまもなく完成の見通しとなっている。整備戸数は170戸だが、2月末現在、まだ50戸(29・5%)の空きがある。市は「支援相談員」にみなし仮設住宅を訪問させるなどし、入居率向上を目指している。

入居率向上を目指す

同市は、古川地域4カ所を公算型プロポーザルで決まった優先交渉権事業者からの買い取り方式で整備。鹿島台、田尻両地域各1カ所は、市が直接建設する形とした。

このうち、鉄筋コンクリート造りの古川駅

東住宅(4階建て)、古川駅前大通住宅(6階建て)、古川七日町住宅(5階建て)は、昨年秋から年明けに入居を開始。木造の田尻沼部住宅(1、2階建て長屋・戸建てタイプ)も昨秋入居が始まった。

一方、鉄骨造りの古川十日町住宅(7階建て)は、旧ホテル古川ゴルフデンパレス跡地で工事が進められている。木造の鹿島台姥ヶ沢住宅(1、2階建て長屋・戸建てタイプ)は、建物ほぼ完成し、今後は外構工事が行われる。いずれも今月末完成、4月入居開始の予定がずれ込む可能性が高いものの、市建築

住宅課は「工事そのものは順調に進んでいる」という。

未入居戸数は、2月末現在、古川七日町6戸(2DK4戸、3DKと3LDK各1戸)、古川駅東2戸(全て2DK)、古川駅前大通3戸(全て1DK)、古川十日町6戸(1DK1戸、2DK5戸)、鹿島台姥ヶ沢32戸(1DK9戸、2DK21戸、3DK2戸)、田尻沼部1戸(3DK)。

このため市は、入居条件を緩和。市の広報紙やウェブサイトに加え、今後はラジオでも空き室状況を紹介する。被災者は多いと思う。鹿島台について、同課は「大崎市に転居するか迷っている沿岸部の話している。立地条件の良さなどをPRしていきたい」と話している。



旧ホテル古川ゴルフデンパレス跡地で工事が進む古川十日町住宅

竹刀と手ぬぐい寄贈

古川東RC 古川の女子中学剣士へ



竹刀を手渡す木村会長と、手ぬぐいを手にする氏家委員長

古川東ロータリー

クラブ(木村正輝会長)

は2月28日、大崎市古

川地域の女子中学剣道

部員用として、古川剣

道協会(小山正二会長)

へ竹刀30本

と染め抜き

手ぬぐい2

50本を贈

呈した。

同クラブ

は、前年度

までは古川

地域の新入

児童用とし

て、市教委

に防犯アザ

ーを贈って

いた。しか

し、アザ

は各学校で

用意するよ

うになったことを受

け、代わりの奉仕活動

を検討。結果、古川は

幕末の剣聖・千葉周作

ゆかりの地で剣道が盛

んであることなどを踏

まえ、今回は竹刀など

た。

同協会が前年度から

実施している女子稽古

会に合わせて行われた

贈呈式には、木村会長、

青少年奉仕委員会の氏

家英喜委員

長、奥山浩

二直前会長

の3人が代

表して訪

れ、品物を

手渡した。

木村会長

は「常日ご

ろから頑張

っている皆

さんに竹刀

などを贈ら

うと考え

た。有効に

使ってほし

い」と。小

山会長は「手ぬぐいの

言葉のように、大きな

心を持ち世界に目を向

けられる人になってほ

しい」と話していた。

竹刀は、稽古会の参

加選手へ優先的に振り

を贈ることとした。

竹刀は、国産真竹で

「紅鶴」の銘が彫られ

たもの。手ぬぐいは、

「気品」「礼節」という

剣道の取り組みに通じ

る2つの言葉を入れ

た。

同協会が前年度から

実施している女子稽古

会に合わせて行われた

贈呈式には、木村会長、

青少年奉仕委員会の氏

家英喜委員

長、奥山浩

二直前会長

の3人が代

表して訪

れ、品物を

手渡した。

木村会長

は「常日ご

ろから頑張

っている皆

さんに竹刀

などを贈ら

うと考え

た。有効に

使ってほし

い」と。小

山会長は「手ぬぐいの

言葉のように、大きな

心を持ち世界に目を向

けられる人になってほ

しい」と話していた。

竹刀は、稽古会の参

加選手へ優先的に振り

分ける。手ぬぐいは、古川以外も含む参加者全員に配り、残り夏に開催予定の「古川総合スポーツ大会・剣道」参加者の記念品とする予定。

住民触れ合い一体感育む 130人出席 まるごと新年祝賀会

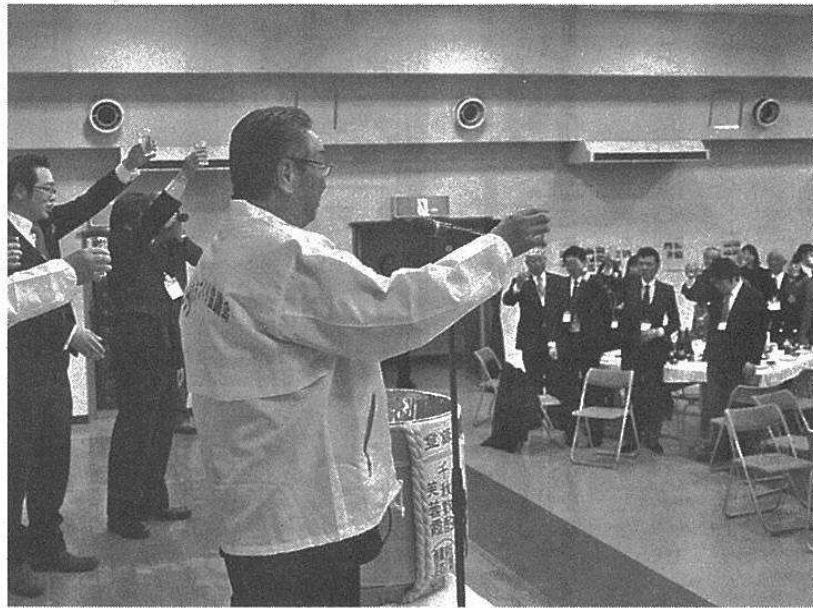
～ 三本木 ～

大崎市三本木地域の行政、商農工関係者らが新年の幕開けを祝う

「さんぽんぎまるごと新年祝賀会」(三本木まちづくり協議会主催、大崎タイムス社など後援)が11日、同市三本木公民館・館山ホールで開かれた。

住民間の触れ合う場を通じ、地域全体の一体感を育むのが狙い。6回目の今回、三本木地域27行政区の代表や行政、学校、企業の代表合わせて約130人が出席した。

出席者たちは、各界の代表者による鏡開きが続いて乾杯。三本木中吹奏楽部による演奏のほか、研修として地域に活動拠点を置く事



業者3人が事業内容を紹介した。

三本木まちづくり協議会の森毅会長は「積極的な交流を通してこ

乾杯して年明けを祝う出席者たち

……
の地域の将来につなげたい」と話していた。